

健康増進の創出による全体最適を目指す（25年度より）

課題

1. 健診業務の更なる充実

2. 国策(健康日本21)への対応

3. 事業推進力の強化

対策

新・人間ドックの運用開始

発症・重症化予防と保健指導(量&質)の強化

情報共有と共同推進

具体策

- 検査項目の見直しと標準化
 - ・ 不要な検査の削除
 - ・ 有効な検査の追加
- 利便性の向上
 - ・ 健診機関の増加（2倍）
 - ・ インターネット予約
- 健診コストの抑制
 - ・ 委託費含め前年予算内
- Web情報発信

健康診断の
大改革

- 健康日本21(第2次)への取組開始
- 生活習慣病の発症予防・重症化予防の取組開始
- 重症化予防の現状分析・解析を行う
- 解析結果を保健指導に紐込む
 - ・ 保健指導の品質強化
- 保健師から健診業務を外す
- 本人・家族の意識改革と行動変容の促進し、生活習慣の改善を図る
- 保健指導の対象者の拡大
 - ・ 特定だけではなく非メタボ・若年者も含む
 - ・ 人工透析、高血圧、高血糖、肥満など
- 前...

データヘルス計画

- 事業所様との更なる連携強化
- 受診勧奨の促進
- 健康づくり推進会議の実施
 - ・ 健康づくり推進の企画立案（ウォーキング、禁煙など）
- 健保HPの刷新

コラボヘルス
『健康経営』

現状分析・把握に行い、より有効な対応策を実施
(健診結果データ&レセプト・データの突合による)